

# 大問題！！

## JR東海・大阪第一運輸所管理者による 人権を踏みにじる異常な行為を許さない！

社員の皆さん！乗務出先地での睡眠時間も割いてヘトヘトになりながら頑張られた5月の知識確認も終わり、やっと一息というところかもしれませんが、中には納得のいかない結果(追試)を告げられた方は、さらなる負荷を強いられ精神的・肉体的にもストレスが増し、安全運行に影響しないか危惧するところです。このような安全運行に影響する「試験」はJR他社と同様に止めてもらいたいものです。

さて、そのような試験が行われていた先月20日、大一運・岡総務科長が東海労組合員Nさんが出勤をした後、いきなり「まじめにして下さい！不真面目だ！」と言葉を投げ付けました。この間、Nさんは真面目に業務をこなし、また趣味のマラソン等を通して職場内の仲間からの信用をかっていた人物です。

本人は、繰り返し「いわれ無き恣意的な理由」で納得のいかないボーナスカットを受け、今回の個人面談でも担当助役に対して「今度ボーナスカットしたら個人目標は書かないですよ」と言いました。

後日、その発言に対して岡総務科長は、乗務前にもかかわらずNさんに上記の発言の後、さらに乗務員準備室で回りに聞こえる大きな声で「仕事をしていない！きちんと仕事をして下さい！」を連呼するという事態が発生しました。

また、5月26日の出勤前、今度は飯田指導科長がNさんに対して「今度ボーナスカットしたら個人目標を書かないと言った発言を撤回しなければ、今回のシミュレーターのスキルアップを受けさせない！」と恫喝をしてきました。

そもそも「個人目標」とは個人が能動的に目標を掲げるもので、決して強制されるものではありません。また一般的な「スキルアップ」とは個人の技量を向上させるために行う訓練ですが、JR東海における「スキルアップ」は、自己の時間に参加するかしないかの気持ちを量り、ひとたび乗務員がミスを起こせば「スキルアップ」への参加を約束させる反省文を強要するものとなっています。実際の新幹線の運転技術の向上に直接つながっているのか疑問を感じます。

Nさんはそうした「スキルアップ」でも、真面目に技量向上を目的に参加しようとしていました。そうした本人の向上心を、指導科長自らが拒否したということは、自己啓発を否定する行為のなにものでもありません。

さらに、6月3日、岡総務科長がNさんに対し、またまた繰り返し回りに聞こえる声で「まじめにしないで！」と言いました。

いずれもNさんは、その都度「人格を否定する行為は止めて下さい！」と訴えているにもかかわらず、執拗に繰り返されている発言・行為です。

こうした繰り返し個人を「責め立てる発言・行為」はパワーハラスメントであり、断じて許すことができません！

**岡総務科長、飯田指導科長をはじめとした大一運輸所の管理者は  
Nさんに対するパワハラ行為を止め、Nさんに謝罪せよ！！**